

21-11-04

ドローンによる鉄道災害初動点検の実証実験を営業線で実施します

名古屋鉄道は、愛知県から受託した「無人飛行ロボット活用促進事業」において、災害時における鉄道運行復旧前の線路設備点検等の課題解決を目指し、将来的なドローンの活用の可能性を探るため、当社築港線でドローン飛行の実証実験を実施します。

なお、市街地の地上営業線におけるドローンの実証実験は国内初となる見込みです。詳細は下記のとおりです。

記

1 実施体制

- 委託元：愛知県（無人飛行ロボット活用促進事業実施委託業務）
- 実施事業者：名古屋鉄道株式会社
- 協力事業者等：株式会社プロドローン（機体運航）
KDDI株式会社（運航管理システム提供）
中日本航空株式会社（3D マップ作成）

2 実施予定日

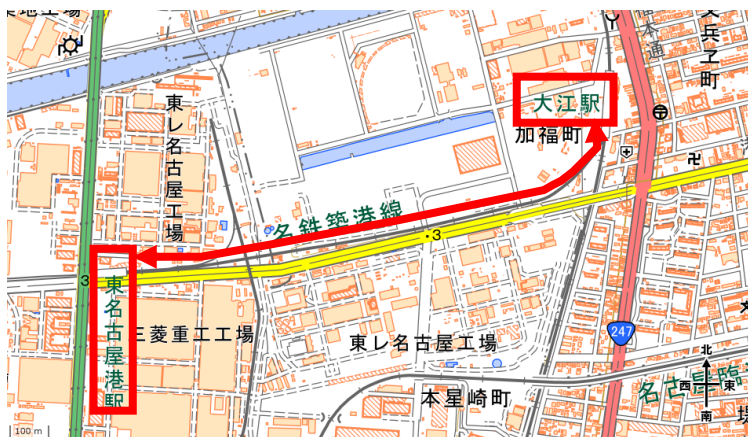
11月17日（水）10：00から

※荒天の場合は予備日（11月22日（月）10：00から）に順延します。

3 実施内容

実証テーマ	ドローンを活用した鉄道災害初動点検モデルの検証
実証地域	名古屋市(南区加福町 ^{かふくちょう} ～港区大江町 ^{おおえちょう}) 名鉄築港線大江駅 ^{ちっこうせん} ～東名古屋港駅 約1.3kmを往復
実験内容	これまで当社係員の巡視により行っていた豪雨等災害後の鉄道運行復旧に向けた線路設備点検を、ドローンが迅速かつ円滑に行う運用モデルを想定した実証実験を行います。 実験に際しては、実際の営業線である名鉄築港線上を飛行ルートとし、3DマップやLTE通信を使用した自律飛行と映像中継等の技術検証を行うことで、初動点検の自動化・省人化の実現を検証します。なお、市街地の地上営業線におけるドローンの実証実験は国内初の試みとなる見込みです。

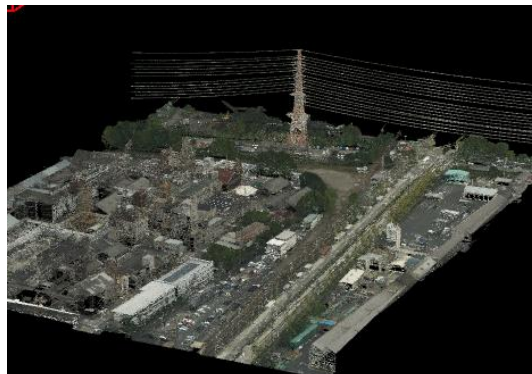
<飛行ルート>



<使用機体 (PRODRONE 製)>



<3D マップイメージ (中日本航空 作成)>



4 今後の展望

当社では、より安全かつ効率的な鉄道施設保守の実現のため、ドローンの活用に向けた取り組みを進めております。本実証実験のテーマである災害初動点検のみならず、構造物等の定期点検における活用も想定し、ドローン操縦士の育成にも着手しており、今後実フィールドでの実験・検証を重ねながら早期の導入を目指してまいります。

以上

本件は、名鉄グループ中期経営計画「Turn-Over2023 ～反転攻勢に向けて～」（2021～2023 年度）の重点テーマに掲げる「交通事業の構造改革」及び「今後成長が見込まれる分野の収益力強化による収益構成の見直し」の「先端技術を活用した取り組みの推進」及びの一環として取り組むものです。